

令和7年度(前期) おひさま認定こども園 教育及び保育活動への評価

園長:仲村由香 主任保育士:呉屋、富着

おひさま認定こども園は、保育の質の向上を図るため、当園の教育及び保育の内容等について、自己評価及び外部評価(保護者による評価)を行い、その結果を公表いたします。



《今後の改善、取組みについて》

・教育・保育においては、日々の生活の中で「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を意識した関わりをもち、連続性のある取り組みを行っています。

今後も園児との信頼関係を十分に築き、安心して様々な取り組みに主体的に関われるようにしていきます。

・安全管理については、災害発生時に備え毎月避難訓練を実施し、職員間で役割分担を確認し、連携を高めています。

・保健管理では、職員ミーティングを通し、子ども一人ひとりの健康状態や育ちを共有し、適切な対応ができる体制づくりに努めています。

・研修体制については、園内外の研修に積極的に参加し、研修で知り得た情報を保育に取り入れ、質の向上を図っています。

・学校との連携については、近隣保育園・幼稚園・小学校との交流会や、保幼小連携会議に参加し会議で知り得た情報を保護者へ共有し、円滑な接続に努めています



達成(A) おおむね達成(B) やや不十分(C) 不十分(D)		
領域	評価項目	評価
重点目標	活動を通して育む保育、課外学習への取り組み	A
	体づくり=体軸体操.etc	A
	発達支援=あいのうらいん(研修)	A
こども園における教育・保育	一人ひとりが安心感と信頼感をもち、様々な活動に取り組む体験を十分に積み重ねられるようにする	A
	生きる力の基礎を育むため、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識し、連続性のある教育・保育を行う	B
安全管理指導	災害発生に備え、防火設備、避難経路等の安全性を確保する	A
	備品、遊具等の配置、保管を適切に行い、日頃から安全環境の整備に努める	A
	災害発生に備え避難訓練を実施し、職員の役割分担、保護者等への連絡、引き渡し方法について連携を図る	A
保健管理指導	健康状態や発育及び発達の状態について把握し、適切な対応に努めている	A
特別支援	個の状況に応じた支援方法を職員間で共有理解し、家庭や関係機関と連携を取りながら教育及び保育にあたる	B
組織運営	全職員が組織の一員として運営に参加することを意識し、資質の向上に努めている	B
研修体制	園内外の研修等を通し、職務内容に応じた専門性を高めるため、必要な知識及び技術の修得、維持及び向上に努めている	A
教育環境の整備	定期的に安全点検を実施し、施設、設備の不備改善に努める	A
家庭との連携・協力	園児の日々の様子の伝達や収集、教育及び保育の意図の説明などを通して、保護者との相互理解を図る また、必要に応じて個別の支援を行うよう努めている	A
学校との連携・協力	保幼小連携を円滑に行い、継続的な交流を計画し相互理解を深める	A
地域との連携・協力	地域の子どもが健やかに育成される環境を提供し、保護者に対する総合的な子育て支援を推進する	A

《保育関係者からのご意見・苦情について》

- 「保護者への対応、関わり方が友だちのような感覚である。フランクすぎる。」とのご意見がありました。“話しやすい雰囲気作り”と“友だちのような関わり”は全く違うことを改善点にあげ、全職員で改善意識をもって対応にあたるように周知しました。
- 「職員に口頭で伝えたのに、伝達漏れが見られる」とのご意見がありました。朝夕の職員配置のシャッフルや職員間での伝達漏れがあった為、しっかりと引継ぎ簿を利用し、口頭・目視での伝達を確実に行うようにしています。

今後も皆様からのご意見を大切に受け止め、より良い園づくりしていきます。